

明 — みょう —

真宗大谷派 本明寺通信

No.22

2011年10月1日発行



御遠忌テーマ 今、いのちがあなたを生きている

真宗大谷派
東本願寺
75th Shinran

暮らしに
じいーん
真宗大谷派
東京教区
www.ji-n.net

今、いのちがあなたを生きている

真のよりどころを
求めて

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要



東日本大震災 災害復興ボランティア



◎八月十八日～十九日

茨城県 茨城二組

八月十八日、十九日の一泊二日で、茨城二組の十二ヶ寺にブルーシート、土のう袋、保存水などの物資を渡しに回りました。同朋社会推進ネットワークのボランティア活動として、東京教区内の被害が大きい地域を回るのは初めてのことでした。

震災発生から半年が過ぎようとしているが、水戸インター付近から屋根にブルーシートと土のうが載っており、塀もいたるところで崩れたあとが残っています。解体作業が終わり、空き地になっている所があれば、早い所だと駐車場として整地されている所もあります。そして、まだ解体作業中の建

東京教区相区分略図



物もあります。夜になると被害を受けた建物が明確に分かります。それは全壊のため立ち入り禁止になっている建物には電気が点かないからです。そのような建物がいくつもあります。おそらく外から見えないところで大きな被害があ

るのでしよう。道も雨が降れば冠水しそうなくらいの水溜りがいたるところにできています。

津波の被害があった地域も、疎らに空き地になっている所や、解体作業が行われている所があります。堤防も修復作業が行われている所もあれば、まだ崩れている所もあります。

今回の活動で回った寺院においても、被害の状況はそれぞれ異なりますが、外から見ると屋根にブルーシートと土のうが載っており、一見屋根だけの被害に見えました。しかし、中を拝見させていただくと、壁が崩れ、建物が歪み柱と雨戸の間に大きな隙間が開いていたたり、梁と柱の間に大きく隙間が開いていたり、外から見て取ることでできないほど内側の損

傷は大きいのです。

今回の活動を通して思うことは、「もつと早い時期に教区内で活動できたのでは？」という反省点です。被害のあった寺院に電話やメールなどで問い合わせしてみますと「私の所は大丈夫です」という返答を頂いており、その言葉に安心してしまっていました。実際の状況は見れば「大丈夫です」とはとても言い難い被害でした。なかなか言い出せない背景には「放射能の問題があるから、なかなか来てほしいとは言えない」「東北の方が被害が大きいから…」などの理由もあるそうです。もちろん、同朋社会推進ネットワークの活動では、屋根の修復や墓石の直しはできません。しかし、現地では手に入れることが難しい上質のブルー

シートや土のう袋、水など、違う地域で手に入る物資を届けることはできたはずでした。また話しかけても聞きに行くこともできたと思います。「翌日が雨の予報だと屋根に上ってブルーシートや土のうをチェックしなくてはいけない」



「余震が頻繁にあるので、夜も落ち着いて寝ることができない」などなど、同じ境遇の地域の人にはなかなか言えない問題を、少し離れた所に住む人間が行くことによつて、地域の人にはなかなか話せないモヤモヤした気持ちや不安を



話せ、少しは気分転換できるのではないでしょうか。

これからの同朋社会推進ネットワークボランティア活動の幅を、もう一度考えたいと思います。

(同朋社会推進ネットワーク『しゃばネット』掲載記事より)

◎九月五日〜七日

岩手県 大船渡市
宮城県 仙台市

今回は初めての仮設住宅での炊き出しでした。そして、初めての失敗を経験した炊き出しでした。

一ヶ所目は岩手県大船渡市崎浜地区にある仮設住宅でした。仙台から大船渡市に向かう途中に、

気仙沼市、陸前高田市を通って行きました。

気仙沼市に入ると、至る所に大きな水たまりがあり、建物の解体工事がやつと始まったという感じでした。車で走っていると、標識が低いことに気が付きました。そ





れは、気仙沼は一メートル近く地盤沈下しており、道路が一メートル以上高くなっていったからでした。街中にはまだ多くの漁船が乗りあげていました。

次に何度か訪れている陸前高田市に入ると打って変わって、至

る所に草が生い茂り、畑だったのか、それとも家が建っていたのか判断することはできません。しかしそこには以前、確実に街があった所なのです。一ヶ所にまとめられていた瓦礫の山は六月に訪れた時とまったく変わらず、十メートル以上も積み上げられたままでした。

仮設住宅での炊き出しは居酒屋的雰囲気での要望に応え、焼き鳥や豚汁などだけではなく、お酒も振舞いました。一緒に飲んでお話を聞くことまではできませんでしたが、仮設住宅での生活についていくつかお話を聞くことができました。

二ヶ所目は宮城県仙台市若林区日辺地区にある一八〇戸の大きな仮設住宅でした。ここで大失敗

を経験しました。大失敗したことは、炊き出しをした中華井の食材が足りず、数十名の方、家族にいき渡ることができなかったことです。並んでいた人たちからは「夕食を用意してないのに」と。本当にごめんさい。また「何回も並んでいる人もいるのに」「家族の人数以上持ってる人がいる」など、配食に対してのお叱りもいただきました。本当に自分たちのしていることには限りがあることに、ただただうなだれるしかありませんでした。

その後、中華井を食べている方にお話を聞きに行きました。「中華井のお味はどうですか？」と聞くのと「とても美味しいよ」と笑顔で答えてくれました。「僕が味付けしたんですよ」と言うと、「どうやっ

て作ったらこんなに美味しくで
きるの？」と、お褒めの言葉も頂
きました。このような声が本当に
身にしみて嬉しかったです。考え
てみますと、僕たちは被災者の
方々に許されて活動ができてい
のだと、あらためて感じました。
また、僕たちが炊き出しの準備
をしている時に仮設住宅ではお米
を配給していました。お年寄りが
お米を二袋も三袋も抱えて自分
の仮設住宅に帰らなくてはなら
ない状況でしたので、代わりに持
って届けました。届ける途中でお
話を聞いてみると、「ここは私が
入った仮設住宅じゃないの…。隣
の人ともうまくいってないし…」
など、仮設住宅での不安を話して
くれました。

その他の歩み



◆七月二十五日(月)～

二十七日(水)

児連 サマーキャンプ

◆八月一日(月)～三日(水)

本山 同朋ジュニア大会

◆八月二十日(土)

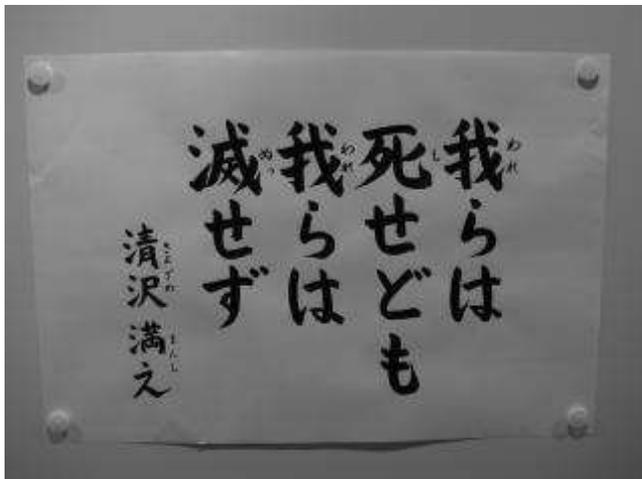
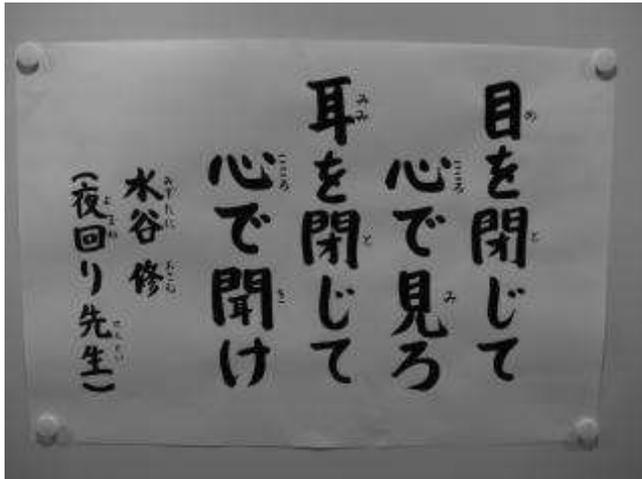
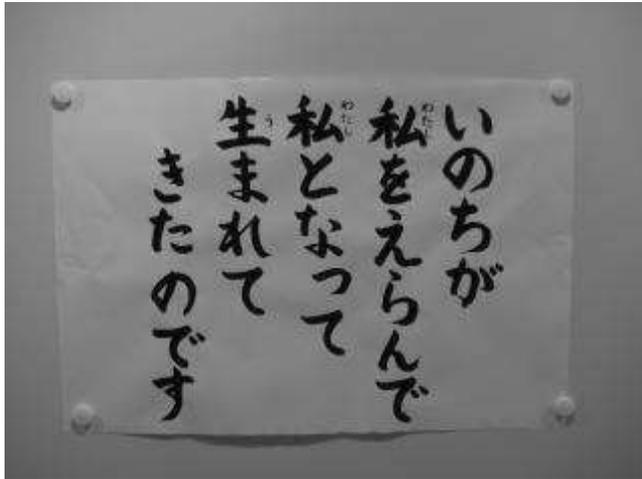
湾岸親鸞講座①

◆九月十二日(土)

真宗ボランティア研修会

などなど

本明寺
宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要
2012年10月27日(土)・
28日(日)
内容未定



お寺の掲示板

七月
八月
九月

七月

八月

九月



本明寺の予定

◆本明寺 おみがき奉仕のつどい

期 日..十月二十三日(日)
時 間..十三時~十六時

一緒に仏具をきれいにしながらお話をしませんか。

◆本明寺 報恩講法要

期 間..

十月二十九日(土) 十四時..速夜法要

御伝鈔拝読

三十日(日) 九時..晨朝法要

十三時..日中法要

十四時..法話

十五時..お齋

浄土真宗にとって一年で最も大切な法要です。

◆本明寺聞法会

期 日..

二〇一一年十一月二十七日(日)

※特別展『法然と親鸞』を観覧

(詳しくはチラシをご覧ください)

十二月二十五日(日)

二〇一二年 一月二十二日(日)

二月二十六日(日)

三月二十五日(日)

四月二十二日(日)

時 間..十五時~十七時

お 話..本田 彰一(本明寺副住職)

テ ー マ..親鸞聖人に人生を学ぶ

(親鸞聖人のご生涯を通して教えを学びます)

参加費..500円

一緒に親鸞聖人が歩まれたお念仏の教えに学んでいきましよう。多くの方のご参加をお待ちしています。

◆特別展『法然と親鸞』観覧ツアー

集合場所：JR上野公園口 東京文化会館前
日 程：14:30 集合

15:00 観覧（自由行動）

17:00 解散

17:30 懇親会（上野駅周辺）

参加費：1,000円（チケット代）

※懇親会費は実費でお願いします。

申込締切：十一月十一日（金）

申込み：申込み用紙に必要事項をご記入の上、本明寺まで郵送またはFAXにてお申込みください。

※詳しくはチラシをご覧ください。

◆花まつり（子ども会）

四月開催予定

お寺でお話を聞いたり、遊んだりしましょう。ぜひご参加ください。

◆湾岸親鸞講座（市民講座）

テーマ：親鸞の詩―『正像末和讃』に学ぶ―
日 程：隔月一回 土曜日

① 二〇一一年 八月二十日

② 十月二十二日

③ 十二月 十七日

④ 二〇一二年 二月二十五日

⑤ 四月 十四日

⑥ 六月二十三日

講師：木越康氏（大谷大学准教授）

受講料：1,000円

会場：江東区産業会館

東京都江東区東陽四・五・十八

東京メトロ東西線「東陽町駅」4番出口横

※副住職がスタッフとして参加しています。

※お申し込み・お問合せは、お気軽に本明寺までご連絡ください。

◆ 私たちの真宗 ◆

- 一、本尊 阿弥陀如来
- 二、宗祖 親鸞聖人
- 三、宗旨 浄土真宗
- 四、宗派 真宗大谷派
- 五、本山 真宗本廟（京都・東本願寺）
- 六、経典 浄土三部経 仏説無量寿経
仏説観無量寿経
仏説阿弥陀経
- 七、教え 本願を信じ、念仏もうさば仏になる
- 八、称名 南無阿弥陀仏
- 九、勤行 正信偈・念仏・和讃・回向・御文
- 十、宗風 礼拝の生活
《朝夕に勤行をいたしましょう》
正信の生活
《迷信に惑わされないうで歩みましょう》
聞法の生活
《仏法を聴聞し、生まれた意義と
生きる喜びをみつげましょう》

あとがき

▼東日本大震災発生から半年が過ぎました。テレビでは復興の明るいニュースが多く報じられています。しかしその裏側には、不安や苦悩が明るいニュース以上にあらわなことを、忘れてはいけなと思います。

★ご意見・ご感想・ご質問などをお待ちしています。

★バックナンバーをご希望の方はご連絡ください。すぐにお送りいたします。

発行 真宗大谷派 本明寺
副住職 本田 彰一（釋 彰一）
〒130-0012 東京都墨田区太平二・七・一
TEL 03-3623-1536
FAX 03-3623-1538
E-mail honmyouji@mx1.ttcn.ne.jp
URL <http://www1.ttcn.ne.jp/honmyouji/>